

熊本市の基幹病院として機能  
豊富な診療科が研修を充実させる



### 院長挨拶

熊本市病院事業管理者  
熊本市市民病院院長

高田 明  
Akira Takada



当院はこれまで地域の急性期高度医療を提供する基幹病院として多くの臨床研修医を受け入れて参りました。しかし、この度の熊本地震による南館・北館の両診療棟の損壊、さらに電気、水道、ガスなどのライフラインの損傷など多くの被害を受け、最終的に診療継続が困難と判断し、本震後、入院患者全員の退院・転院を行いました。最終的な病棟の被災状況調査では北館、南館とも耐震性の問題から使用困難と判断され、入院診療が行えない状況となりました。現在は新館での外来診療を行っており、平成28年12月26日にNICU病棟(NICU9床、GCU5床)が再開しました。平成29年1月20日には一般病棟10床の運用も開始いたしました。しかし診療機能の多くを失ったままのため、臨床研修医の研修受け入れが当分できない状況です。

被災後は各医療機関への診療支援(医師、看護師、医療技術職の派遣)、避難所での医療救護活動、深部静脈血栓症対策チーム、感染対策チーム、口腔ケアチーム、リハビリチーム、褥瘡ケアチームなどの避難所巡回、拠点避難所や指定避難所への看護師の24時間配置、熊本市保健医療救護調整本部(市内の避難所の統括)の運営などに携わって参りました。

発災直後から当院在籍中の研修医の皆さんは各方面で様々な活動に積極的に参加してもらいました。大変貴重な経験となったことと思います。研修継続のため1ヶ月後には別の研修医療機関に全員異動となりましたが、彼らの今後の充実した研修を祈念しています。

このような中、大西一史市長より東区東町への移転新築の発表がなされ、有識者による『熊本市市民病院の再建に向けた懇談会』や『公共施設マネジメント調査特別委員会』などの審議を経て、新病院の基本方針をまとめたところです。そこで下の3つの基本方針を掲げました。

- ①市民の生命と健康を守る自治体病院
- ②地域医療を支える公立病院
- ③質の高い医療サービスを持続安定的に提供する

新病院では、診療科は28科、病床数は392床(一般病床380床、感染症病床12床)となる予定です。今後多くの診療科を有する総合病院として、高度急性期医療を提供して参ります。また総合周産期母子医療センターはもちろん、救急医療やがん医療などにも引き続き取り組んで参ります。新病院は市民が使用しやすい、災害に強い(免震構造)、効率的で環境に配慮するなどのコンセプトで設計されます。標準的な建設工期では新病院開院まで約3年間を要するものと想定していますが、工期短縮に努め早期開院を目指したいと考えております。

新病院においては臨床研修医の皆さんに充実した研修をしていただけるよう、準備を行っていきたくと考えています。新しい熊本市市民病院にご期待ください。

### 地震被災により、平成31年度より臨床研修の募集を再開予定です

当院は平成28年熊本地震により被災し、現在は通常の外来診療に加えNICU(9床)・GCU(5床)、及び一般病棟10床の入院診療を行ってはおりますが、救急診療や大手術は不可能であり、十分な研修が行えない状況です。被災当時在籍した研修医16名は当院での研修を中断し、現在は他の臨床研修病院にて全員研修を再開しています。

しかし、当院は震災復興のシンボルとして平成31年中の新築・移転を目指しており、平成31年度には免震構造の真新しい病院で充実した臨床研修が再開できる予定です。その際には改めて臨床研修の募集をいたします。

当院での臨床研修を心待ちにしていた方には大変申し訳ないのですが、今後新たな熊本市市民病院を共に作っていきたくと思う方は、是非、再開の折に応募をしていただきますようお願い申し上げます。



熊本市市民病院  
首席診療部長

福田浩一郎  
Koichiro Fukuda

#### ●診療科一覧

- |          |           |             |
|----------|-----------|-------------|
| ●内科      | ●外科       | ●耳鼻咽喉科      |
| ●呼吸器内科   | ●消化器外科    | ●皮膚科        |
| ●感染症内科   | ●小児外科     | ●泌尿器科       |
| ●神経内科    | ●乳腺・内分泌外科 | ●歯科口腔外科     |
| ●消化器内科   | ●小児科      | ●麻酔科        |
| ●腎臓内科    | ●産科       | ●精神科        |
| ●血液・腫瘍内科 | ●婦人科      | ●放射線科       |
| ●代謝内科    | ●整形外科     | ●新生児内科      |
| ●循環器内科   | ●リウマチ科    | ●病理診断科      |
| ●小児循環器内科 | ●脳神経外科    | ●リハビリテーション科 |
| ●心臓血管外科  | ●眼科       |             |
| ●小児心臓外科  | ●呼吸器外科    |             |

#### ●研修・認定施設一覧

- 赤ちゃんにやさしい病院(BFH)(平成15年8月認定)
- 総合周産期母子医療センター(平成16年3月指定)
- 救急医療、がん治療、高度先進医療、難病治療
- 地域がん診療連携拠点病院(平成17年1月指定)
- 日本医療評価機構認定施設(平成15年12月指定)
- 臨床研修指定病院(昭和61年3月指定)
- 国際医療交流:ハイドルベルク、サンアントニオ市との医学交流
- 感染症病床:感染症第1・2種病床を有する、エイズ治療拠点病院

#### 施設概要

所在地 〒862-8505 熊本市東区湖東1丁目1番60号  
 開設者 熊本市  
 開設年月日 昭和21年2月1日  
 院長名 高田 明(たかだ あきら)  
 標榜科 内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、リウマチ科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、産科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、代謝内科、感染症内科、血液・腫瘍内科、腎臓内科、新生児内科、乳腺・内分泌外科、小児心臓外科、小児循環器内科、病理診断科、リハビリテーション科

#### 問い合わせ先

所在地 〒862-8505 熊本市東区湖東1丁目1番60号  
 担当部署 事務局/総務課/人事班  
 TEL 096-365-1711(代表)内線3654  
 FAX 096-365-1712  
 E-mail byouinsoumu@city.kumamoto.lg.jp  
 URL http://www.cityhosp-kumamoto.jp

※平成28年の熊本地震の被災により、現在、認定・指定の取り消しや一部診療科の休診を行っております。

### 移転先のお知らせ

震災復興のシンボルとして、右記の熊本市東区東町に平成31年中の新築・移転を目指しています。

